

木と竹で、こんなに種類があるの？



手ざわりがあたたかいね

木工・竹細工

木と竹から生まれる、日本のものづくり



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

木と竹の入り口	3～5
木の工芸	6～8
竹の工芸	9～12
つくり手と暮らし	13～15
見る・体験する	16～17
おさらいしよう	18～22
練習しよう	23～25
伝えてみよう	26～28
まとめ	29～30

木の文化

日本と木のかかわりを知ろう。

日本は、森や山にめぐまれ、古くから**木の文化**を育んできた国だといわれています。

家や道具、おもちゃにいたるまで、木は暮らしのすぐそばで使われてきました。



こんなところにも木

家の柱や床

箸やお椀

おもちゃ

家具

神社仏閣の建物

木は、育てて使い、また植えて育てるという、くり返しの中で使われてきました。

ポイント

- 木は加工しやすく、あたたかみのある素材として親しまれています。
- 木の種類によって、色やかたさ、香りがちがいます。

やってみよう

1. 家の中にある木でできたものを3つさがしてみよう。

書いて覚えよう

kanna

木の表面をけずり、なめらかにする道具

nomi

木をほったり、みぞをつくったりする道具

木を切るための道具

表面をけずり整える道具

細かい形をほる道具

直角や長さを測る道具

くぎを打つ道具

表面をなめらかにする道具

- 道具は、木の種類や作業に合わせて使い分けられます。

1. この中で、使ったことのある道具はありますか。

5

曲げわっぱ・寄木細工

木を曲げたり組んだりしてつくる工芸を知ろう。

曲げわっぱ

まげわっぱ／magewappa

杉などの薄い板を曲げてつくる木工品

寄木細工

よせぎざいく／yosegi-zaiku

色ちがいの木を組み合わせて模様をつくる工芸

産地の例

曲げわっぱは秋田県大館市など、寄木細工は神奈川県箱根町などが、代表的な産地として知られています。

寄木細工には、開け方にしかけのある「秘密箱」もあります。

ポイント

- 曲げわっぱは、木の香りがよく、お弁当箱やおひつに使われます。
- 寄木細工は、木そのものの色を組み合わせる模様をつくります。

やってみよう

1. 曲げわっぱか寄木細工、見たことがあるのはどちらですか。 _____

書いて覚えよう

東北地方に伝わる木の人形を知ろう。

産地によって、顔の表情や模様がちがいます。



- こけしは、木のあたたかみを感じられる素朴な人形として親しまれています。
- 宮城県鳴子など、こけしにはいくつもの産地があります。

1. こけしを見たことがあれば、どんな顔だったか書こう。

木でできたおもちゃと、組み合わせの技を知ろう。

wooden toys

積み木やこまなど、木でつくられたおもちゃ

くみこざいく／kumiko

くぎを使わず木を組んで模様をつくる技術

- 木のおもちゃは、あたたかみのある手ざわりが魅力です。
- 組子細工は、細くけずった木を組み合わせて、幾何学模様をつくります。障子やふすまに使われることもあります。

1. 遊んだことのある木のおもちゃを1つ書こう。

竹の文化

日本と竹のかかわりを知ろう。

日本には、古くから各地に竹林があり、**竹**は木とならんで暮らしに欠かせない素材でした。

軽くてしなやかな性質を生かして、道具や工芸品に加工されてきました。



こんなところにも竹

かご

ざる

竹ぼうき

つりざお

茶道具

竹は、身近な暮らしの道具にも、茶道具のような特別な道具にも使われます。

ポイント

- 竹は木とはちがう植物で、成長がとても早いことでも知られています。

やってみよう

- 家の近くで竹を見たことがありますか。 _____

書いて覚えよう

竹細工の種類・竹かご

竹を編んでつくる工芸を知ろう。

竹細工

たけざいく／bamboo craft

竹を割ったり編んだりしてつくる工芸

竹かご

たけかご／bamboo basket

細くさいた竹を編んでつくるかご

編み方の例

六つ目編み

網代編み

ござ目編み

編み方によって、強さや模様が変わります。

ポイント

- 竹細工は、細くさいた竹（竹ひご）を編んでつくられます。
- 編み方の名前には、模様の形からついた呼び名があります。

やってみよう

1. 竹かごを見たことがあれば、どんな編み方だったか書こう。

書いて覚えよう

Lesson
12-13

竹とんぼ・茶せん

遊びの道具と、茶道具の竹細工を知ろう。

竹とんぼ

たけとんぼ／bamboo dragonfly toy

竹でつくる、飛ばして遊ぶおもちゃ

茶せん

ちゃせん／tea whisk

竹でつくる、抹茶を点てる道具



Ken

茶せんって、竹を細くさいてつくるんだって。

Emma

1本の竹から、あんなに細い糸のような形ができるなんてすごいね。



ポイント

- 竹とんぼは、両手でこすって回し、空へ飛ばして遊びます。
- 茶せんは、奈良県のある地域が主な産地として知られています。

やってみよう

1. 竹とんぼを飛ばしたことがありますか。 _____

書いて覚えよう

- 竹は、木にくらべて軽く、しなやかに曲がる性質があります。
- 成長がとても早く、数年で大人の竹になるといわれています。
- 割ると細くさけやすいため、かごや道具に加工しやすい植物です。

1. 竹と木、さわった感じのちがいを想像して書いてみよう。

木工の職人・大工の技

木や竹をあつかう職人の技を知ろう。

木工の職人

指物師

くぎを使わず家具をつくる職人

木地師

ろくろでお椀などをつくる職人

大工の技

継手・仕口

くぎを使わず木材を組み合わせる技術

宮大工

神社やお寺をつくる職人

ポイント

- 木や竹の工芸は、長い修業を積んだ職人によって支えられてきました。
- くぎを使わずに木を組む技術は、地震の多い日本ならではの工夫ともいわれています。

やってみよう

1. 職人の仕事の中で、気になったものを1つ書こう。

書いて覚えよう

木工を体験しよう

身近な材料で、木工の気分を体験しよう。

木片をやすりで磨こう

- ① 木片の角を、紙やすりで軽くこする。② 少しずつ表面をなめらかにする。③ 布でふいて、つやを確かめる。

ポイント

- 紙やすりの目の粗さを変えると、仕上がりが変わります。
- 刃物を使う作業は、必ず大人といっしょに行いましょう。

ワンポイント けがを防ぐため、木のとげや角には気をつけてさわりましょう。

書いて覚えよう

木と竹の道具の手入れと、暮らしへの生かし方を知ろう。

写真や実物を見てみよう

見て、ふれて、木と竹の工芸を身近に感じよう。

見てみよう

曲げわっぱ

寄木細工

こけし

竹かご

工芸館の展示

実物を見ると、写真だけではわからない木目や手ざわりに気づけます。

ポイント

- 工芸館や資料館では、由来の説明を読みながら見ると理解が深まります。

やってみよう

1. 家にある木や竹の道具を1つさがして、絵か写真で記録しよう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に体験して、木と竹の工芸を楽しもう。

やってみよう

木工体験

竹とんぼづくり

紙やすりみがき

工房見學

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本だけではわからない発見があります。
- 刃物や道具を使うときは、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

18

地域によるちがい

木と竹の工芸には、地域による個性があります。

産地	都道府県	特徴
曲げわっぱ	秋田県など	杉の香りを生かした木工品
寄木細工	神奈川県	色ちがいの木を組み合わせる
茶せん	奈良県	竹を細くさいてつくる茶道具

ポイント

- 同じ日本の中でも、育つ木や竹のちがいによって、工芸の個性が変わります。

やってみよう

1. 自分の住む地域に、木や竹の工芸の産地がないか調べてみよう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

木と竹の工芸は、時代とともに変わってきました。

普

手作業が中心

すべて手道具でつくる

時間も手間もかかる

日用品として広く使われた

暮らしの中心にあった

今

工夫を重ねながら続く

電動の道具も使われる

効率よく形をつくれる

工芸品として大切にされる

特別な道具として選ばれる

ポイント

- 道具は変わっても、木や竹を生かすという基本の考え方は今も同じです。

やってみよう

1. 昔と今で、いちばん大きく変わったと思うところはどこですか。

書いて覚えよう

よくある疑問

木と竹の工芸について、よくある疑問に答えよう。

疑問	こたえ
木と竹はどうちがう？	木は樹木、竹はイネの仲間の植物で、性質がちがう
なぜくぎを使わない技術がある？	木が動いても壊れにくくする工夫といわれている
工芸品は高い？	手間や技術によって値段はさまざまで、一概には言えない

ポイント

- 疑問に思ったら、職人さんやお店の人に聞いてみるのもよい方法です。

やってみよう

- 自分が木や竹の工芸について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

木と竹の道具をあつかうときのマナーを知ろう。

ポイント

- 刃物や道具を使うときは、必ず大人といっしょに行いましょう。
- 展示されている工芸品には、許可なくさわらないようにしましょう。
- 木や竹の道具は、水につけばなしにせず、しっかり乾かしましょう。

ワンポイント 工房を見学するときは、機械や道具に近づきすぎないよう気をつけましょう。

やってみよう

1. 道具をあつかうときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきた言葉を確認しよう。

木工の言葉

☐ 曲げわっぱ

板を曲げてつくる木工品

☐ 寄木細工

色ちがいの木で模様をつくる工芸

☐ こけし

東北に伝わる木の人形

☐ 組子細工

くぎを使わない木の組み合わせ

竹工芸の言葉

☐ 竹細工

竹を編んでつくる工芸

☐ 竹かご

竹ひごで編んだかご

☐ 茶せん

抹茶を点てる竹の道具

☐ 継手・仕口

木を組み合わせる大工の技

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、工芸品を見る目がもっと深まります。

書いて覚えよう

● オ.杉の板を曲げてつくる

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、身近な人に伝えてみよう。

紹介する工芸

特徴

おすすめポイント

聞いてほしい人

Ken の例

紹介する工芸 寄木細工／特徴 色ちがいの木で模様をつくる／おすすめポイント 秘密箱のしかけが面白い／聞いてほしい人 家族

ポイント

- 言葉で説明すると、自分の理解も深まります。

書いて覚えよう

ディス イズ メイド オブ バンブー
これは竹でできています。



1. 家にある木か竹の道具を、英語で1文紹介してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

木と竹の工芸の世界を、もっと広げていこう。

もっと知りたい人へ

工芸館で

地域の木工・竹細工の展示を見る

体験で

工房で実際につくってみる

次に学べること

刀と金工

金属を生かす工芸の世界

陶磁器

土から生まれるうつわの世界

ポイント

- この教材の次は「刀と金工」。同じ日本の伝統的な工芸として、あわせて学ぶと理解が深まります。

書いて覚えよう

木工・竹細工チャレンジ

教室の外でも、木工・竹細工はすぐに楽しめます。

さがそう

家の中にある**木か竹**の道具を見つける

さわろう

木と竹の手ざわりのちがいを確かめる

伝えよう

好きな工芸を**家族**に紹介する

こたえ

L28 曲げわっぱ→オ 寄木細工→エ こけし→イ 竹かご→ア 茶せん
→ウ 2. 木 / 竹

L33 (例) 木工・竹細工とは、木や竹を生かしてつくる、日本の
伝統的なものづくり。

書いて覚えよう

木工・竹細工 (Season 5 | No.45)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。